

【平成29年度】

肉用子牛生産者補給金

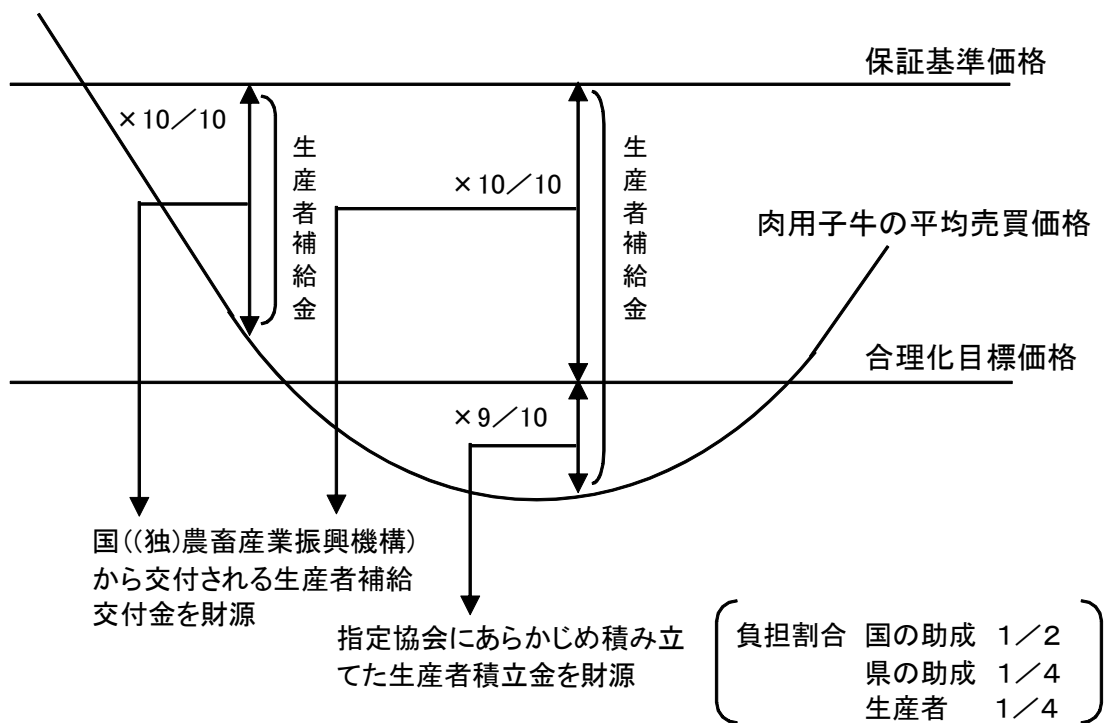
1 制度の目的

牛肉の輸入自由化に伴う子牛価格への影響に対処するため、肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、子牛価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付することにより、肉用子牛生産の安定を図る。

2 制度の内容

肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛（黒毛和種、褐毛和種、その他の肉専用種、乳用種、交雑種）を対象として補給金を交付する。

さらに、平均売買価格が合理化目標価格を下回った場合には、国、県、肉用子牛生産者の積立により造成した生産者積立金から、下回った額の $9/10$ を補給金として交付する。



3 事業実施主体 指定協会（都道府県肉用子牛価格安定基金協会）

4 所要額（補助率） 19,941百万円（定額、 $1/2$ ）

5 業務対象期間 平成27～31年度

担当課：生産局畜産部食肉鶏卵課
代表 03-3502-8111 内線 4941
担当者：西端、前野

肉用牛繁殖経営支援事業

1 事業の目的

肉用牛繁殖経営は、子牛出荷までの生産期間が長いため資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、子牛価格の変動の影響を受けやすいという特徴を有している。

このため、肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の8割水準を下回った場合に差額の一部を補填することにより、繁殖経営の所得を確保し、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図る。

2 事業の内容

肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が発動基準（家族労働費の8割を補償するものとして設定）を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の3/4を交付する。

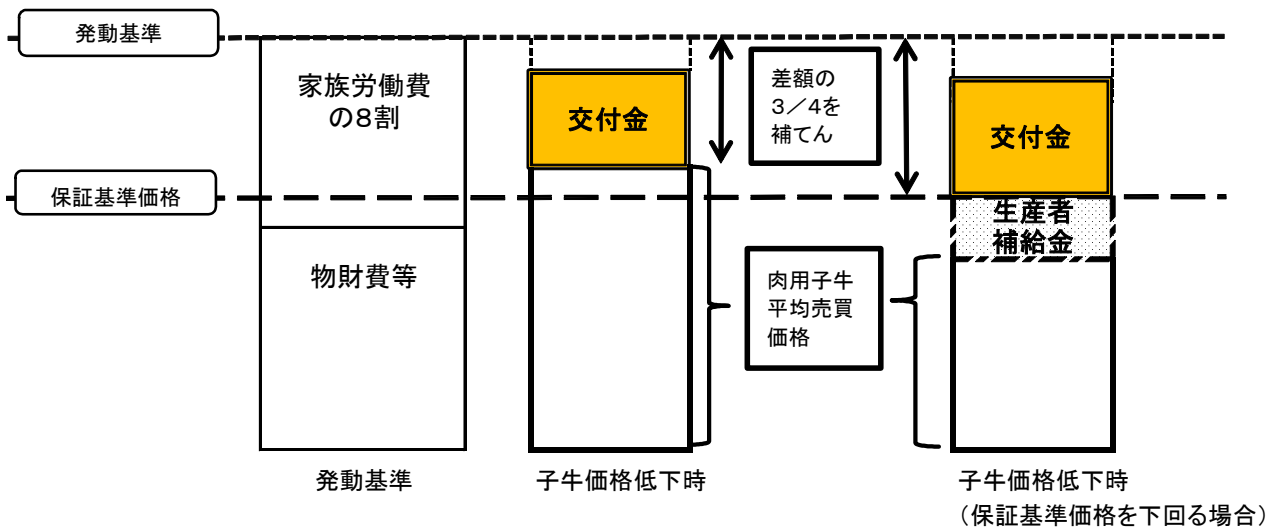
(1) 対象品種 : 黒毛和種、褐毛和種、その他の肉専用種

(2) 発動基準	品 種	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
(29年度以降)	発動基準	46万円	42万円	30万円

(3) 交付金単価 : 発動基準と平均売買価格（ただし、平均売買価格が保証基準価格を下回る場合は保証基準価格）の差額の3/4

(4) 対象子牛 : 肉用子牛生産者補給金制度の契約肉用子牛

(5) 事業実施期間 : 平成28～30年度（3年間）



3 事業実施主体 指定協会（都道府県肉用子牛価格安定基金協会）

4 所要額（補助率） 17,570百万円（定額）

担当課：生産局畜産部食肉鶏卵課
 代表 03-3502-8111 内線 4941
 担当者：西端、前野